

第18回奈良県中学校サッカー春季大会 開催要項

- 趣 旨 奈良県中学校体育連盟及び（一社）奈良県サッカー協会は、次代を担う中学生年代のサッカー技術の向上と健全な心身の育成を図るとともに、中学校サッカー部の普及と発展を目的に、奈良県中学校体育連盟団体全てが参加できる大会として実施する。
- 主 催 奈良県中学校体育連盟、（一社）奈良県サッカー協会
- 主 管 奈良県中学校体育連盟サッカー専門部
- 期 日 2022年4月24日(日)・29日(金・祝)・5月1日(日) 【予備日】5月3日(火)奈良学園G
- 試合会場 奈良県フットボールセンター、県内各中学校グラウンド

6. 参加資格

- 奈良県中学校体育連盟に2022（令和4）年度加盟登録予定の単一中学校であり、**（公財）日本サッカー協会に2022（令和4）年度第3種加盟登録されたチーム**で、次の条件を満たしていること。
 - 奈良県中学校体育連盟に登録予定の選手であること。
 - （公財）日本サッカー協会に加盟登録されたチームに2022年4月24日（初回戦）までに登録された選手であること。**また、（公財）日本サッカー協会発行の写真付き選手証を所持していること。なお、一覧表の場合は背番号を手書きで記載すること。
 - クラブチームからの移籍選手は、**4月15日以前に移籍が完了**していること。また、第36回日本クラブユースサッカー（U15）選手権大会奈良県大会にエントリーされていないこと。
 - 一家転住等の理由により上記期限以降に追加登録した選手が大会参加を希望する場合は、専門委員長の別途了承のもと大会への参加が認められる。
- 1チームは、引率者1名、監督1名、コーチ1名、選手25名(大会参加申し込み)内とする。
- 選手数が不足している学校による「複数校合同チーム」の大会参加については、次の条件を満たしている場合のみ認めることとする。もちろん、「11名以上の選手を有する学校」(以下、「満たしている学校」という)同士の合同は不可である。
 - 「奈良県中学校総合体育大会複数校参加規定」(別記)に従い、奈良県中学校体育連盟が認めたものであること。
 - 極端な勝利至上主義を目的とする合同であってはならない。
 - チームの編成は、原則として「11名に満たない学校」(以下、「満たない学校」という)どうしとする。原則として3校以上での合同は認めない。
※ただし、3校以上であってもエントリー数(春季大会は25名)を越えない範囲であれば、この限りではない。
※特例措置として、「満たない学校」と「満たしている学校」の合同を認めることがある。
その際、大会参加のための救済措置であるという視点を十分踏まえ、合同のチームの編成のあり方については、十分配慮すること。なお、その詳細は、奈良県中体連サッカー専門部「**複数校合同チームの参加規定について**」(別記)による。
※また、「満たない学校」と「満たしている学校」の一部が合同することは不可。大会参加は、1校1チームのみ。
 - 大会参加の申請・申込の手続きは、それぞれの学校の顧問者が協議の上、代表する学校が行うこと。
 - 複数校合同チームとしての参加を専門委員長が別途了承すること。**承認は、2021年4月15日(金)(顧問者会議の日)までとする。**
 - 今大会ベスト8のチームには、県総体のシード権を与えるが、県総体において合同チームを解消した場合はシード権の対象外となる。**

- (4) 参加生徒の引率・監督は出場校の教員とする。その他コーチ・部活動指導員（部活支援員）については校長の認めた者とする。なお、コーチ・マネージャー・部活動指導員（部活支援員）を新規で登録するときは、県新人大会時に発行したコーチ・マネージャー確認書を使用し、同様の方法で行うこと。また、外部コーチは、大会時に確認書の写しを必ず帯同すること。

7. 競技規定

- (1) トーナメント方式により、優勝以下第3位までを決定する。

- (2) 試合時間はすべて、60分（30-5-30）とする。

① 【1回戦～準決勝】

規定の競技時間内に勝敗の決しない場合は、ペナルティーキック方式により、次回戦に進出するチームを決定する。※順位決定戦は行わない。

② 【決勝戦】

規定の競技時間内に勝敗の決しない場合は、5分間の休息の後10分（5分ハーフ）による延長戦を行い、なお決しない場合は両チーム優勝とする。

- (3) 選手のエントリーは、自チームの初戦打合せ時に、所定の「エントリー用紙」原本1部とその写し1部を本部へ提出しチェックを受けること。なお、その写しは大会本部の控えとする。「エントリー用紙」の受付後のエントリー変更は認めない。以後、チェックを受けたエントリー用紙原本の複写を各試合のエントリーメンバー票とする。また各試合15分前までにエントリーメンバー票の先発メンバー11名に [○] 印を、リザーブメンバー**最大7名**に [△] を記し、本部に2部提出すること。

- (4) 出場するチームは、（公財）日本サッカー協会発行の選手証を持参し提出すること。不携帯は出場できない。

各チームの登録選手は原則として「KICK OFF」から出力した電子選手証（写真が登録されたもの）がスマートフォン等の画面で確認できる場合は出場を認めるものとする。

※電子選手証とは、JFAのWEBシステム「KICK OFF」から出力した選手証を印刷したもの、またスマートフォンやPC等の画面に表示したものを示す。

- (5) 試合開始時刻に試合可能な人数（7人）に達していない場合は不戦敗とする。

(6) 選手交代

- ① 大会参加申込み（エントリー）した最大25名の選手のうち、ゲームエントリー（ベンチ入り）は**最大18名**まで。交代要員7名が主審の許可を得て交代することができる。1度退いた選手は、再び出場することはできない。

- ② 交代要員は、第4の審判員に対して、交代する選手の番号を通告し、服装・用具の点検を受けた後、主審の許可を得てからフィールド内に入ること。

※前半・延長戦中はもちろん、ハーフタイムのインターバル中、延長戦に入る前に選手交代する場合も、適正に行われること。

- (7) 試合球はJFA公認5号球（新球が望ましい）とし、各チーム必ず用意すること。

- (8) ユニフォームについては、「ユニフォーム規定」（別記）を満たすもので以下のとおりとする。

- ① 選手はすべて同一の服装であること。
- ② ゴールキーパーの服装は他の選手と区別できる服装であること。
- ③ ユニフォームは色違いのものを2着用意し、選手番号は同一とする。
- ④ 同系統色が重なった場合、主審によるコイントスの上、一方のチームにユニフォームの変更を求める。
- ⑤ ユニフォームの広告表示については、中体連規定によりこれを認めない。
- ⑥ ユニフォームのシャツの前面・背面に登録した選手番号を付けること。なお、選手番号については1～99とする。また、ショーツの番号は、付けることが望ましい。
- ⑦ ユニフォームのシャツの背面には、番号以外の選手の個人名は認められるが、その他（チーム名、県名等）は認められない。

- ⑧ アンダーシャツおよびアンダーショーツを着用する場合は、袖またはショーツの主たる色と同色が**望ましい**。また、ストッキング（ソックス）の上にテープまたは同様な材質のもの（バンテージ、アングルサポーター等）を外部に着用する場合は、着用する部分のストッキングの色と同じものが**望ましい**。

※ただし、袖またはショーツの主たる色と同色でない場合は、全員が着用する必要がある。

- (9) 退場処分を受けた者、または警告を2回(累積)を受けた者は、次の1試合に出場できない。それ以外に、処遇をフェアプレー(規律)委員会(布施 淳一郎委員長)にて審議し、決定する場合がある。その決定に際し、特に悪質な行為(審判に対する攻撃的な、侮辱的な言動等)については、大会をまたいでの出場停止を行う場合がある。
- (10) コーチングについては、ベンチまたは、テクニカルエリア内で行うこと。なお、テクニカルエリア内に立ってコーチングできるのは、その都度引率者、監督、コーチのうち1名のみとする。ただし、会場によっては、テクニカルエリアが設置できない場合もある。その場合は、ベンチのみとする。
- (11) 日没、雷、降雪等により試合続行が困難な場合は試合を一時中断する。中断・再開の判断は、審判団とマッチコーディネーター、および大会本部が協議の上、判断する。雷等の場合、再開の目安は120分とするが、会場施設や運営等の都合も考慮する。また、日没、雷等により一時中断された試合がその日のうちに再開できない場合は、日を改めて、中断によって行われていない残り時間(残分)を行い、ゲームを成立させる。なお、このことによるその後の大会日程の変更等は、追って連絡するものとする。
- (12) 以下、最新の(公財)日本サッカー協会「サッカー競技規則」による。

- (13) 新型コロナウイルス感染拡大防止に向けて、「奈良県サッカー協会競技会運営ガイドライン」、「奈良県3種事業運営ガイドライン」、中体連から出されている「大会参加者及び来場者への新型コロナウイルス感染症の拡大防止に対する心得」に基づいて、大会運営を行う。**

8. 表彰 優勝以下第3位までを表彰する。

9. その他

- (1) チーム代表者並びに競技運営にあたっている運営役員は、**必ず第1試合の開始1時間前(各会場にて変更可)**に本部に集合し、運営にあたること。また、運営のための打ち合わせを行うこと。但し、競技場の準備等(補助員等)については、別に会場担当及び大会本部より連絡をすることがある。
- (2) 敗退したチームの顧問は、次回戦に進出すべき予定ゲームの運営役員及び審判を務めなければならない。(補助員の場合も含む)

※ 共通理解事項として、以下の項目を確認しておく。

- ① 第1日目に敗退したチームには、その後行われるトーナメントの運営役員及び審判が配当される。具体的な配当は、第1日目終了後に**メールで配信するので、必ず確認すること。**
- ② 次回戦に進出したチームにも運営役員及び審判の担当を配当することがある。
- ③ いずれかの回戦において、会場担当した学校については、敗退した後の次回戦運営については免除する。ただし、審判担当が入る場合がある。

- (3) ベンチについては、会場本部からピッチに向かって、左側にトーナメント表の小さい番号のチーム、右側に大きな番号のチームとする。

- (4) ベンチ入り人数は、引率者1名、監督1名、コーチ1名、**選手18名の計21名以内**とする。**ただし、試合前のピッチ内アップについては、25名でも構わない。**

- (5) 審判は、必ず審判服を着用すること。また試合開始1時間前に到着し、審判団として打ち合わせを行うこと。生徒が審判をする場合は、ユース審判員が望ましい。

- (6) マッチコーディネーターをおくこと。第3者的立場の派遣役員に依頼することが望ましいが、無理な場合は、その会場の役員の中から指名する。
- ・ 試合運営の総括責任者である。
 - ・ グラウンド状況の把握。
 - ・ 試合運営状態、試合進行状況の把握とチェック。
 - ・ 選手の態度のチェック。
 - ・ 審判員のチェック。
 - ・ 悪天候や試合におけるトラブルが発生した場合、審判団、役員と協議の上で試合続行の可否について最終判断を下す。
- (7) 試合開始1時間前をめどとして、マッチコーディネーションミーティングを行い、以下の内容を確認するものとする。なお、ミーティングは、マッチコーディネーター・審判団・対戦チーム代表で行う。ただし、その会場の日程上の都合等でミーティングの時間がとれない場合は、朝の打ち合わせ時に時間を確保して行っておくこと。
- ・ 試合運営上の必要な内容（試合開始時刻・試合時間・メンバーチェックの時刻等）について
 - ・ ウォーミングアップ（ピッチ内の使用の可否・時間等）について
 - ・ ユニフォームの色について
 - ・ 悪天候時には、試合続行の判断について 等
- (8) 最終日はマッチウェルフェアオフィサーをおく。
- (9) 大会期間中の負傷及び疾病については、各チームで対応し、主催者はその責を負わない。
- ※ **インフルエンザ及び新型コロナウイルス**に関する対応は、「大会を感染拡大の場にしない」という施政方針の下、奈良県教育委員会の通達に従って、各チームで対応すること。
- (10) 会場でのマナーについて、大会参加チーム(選手・エントリーされていない選手、応援者・保護者等を含む)は、以下の点に留意してください。
- ① 会場施設の美化に努めること。ゴミ等はすべて各チームで必ず持ち帰ること。
 - ② 会場敷地内が、全面禁煙となっている会場では絶対に喫煙しないこと。また、喫煙が可能な場合であっても、喫煙は指定された場所のみとし、マナーを遵守すること。
 - ③ 会場使用のマナーを遵守すること。特に、車両の乗り入れ、駐車等については、十分配慮すること。とりわけ、今後の会場使用について制限を受けることがある。
- ※ **学校会場は無観客とする。ただし、フットボールセンターについては1家族1名(推奨)であれば可とする。**
- ④ 応援は、各会場より指定された場所で行うこと。マナー(判定・プレーに対する暴言等)にも各チーム顧問として十分注意を払うこと。
- ・ 以上の点について大会関係者から指摘があった場合、フェアプレー(規律)委員会に諮りその処遇を決定する場合があります。
 - ・ 上記の内容は、現時点の案であり、社会情勢等を総合的に判断し、4月15日(顧問者会議の日)に最終決定した内容を提示します。
- (11) 「(公財)日本中学校体育連盟が主催する本大会に出場するチーム・選手の引率者、監督、部活動指導員(部活支援員)、外部指導者(コーチ)、トレーナー等は、部活動の指導中における暴力・体罰・セクハラ等により、任命権者又は学校設置者から懲戒処分を受けていない者であることとしている。校長はこの点を確認して、大会申込書を作成する。なお、外部の指導者は校長から暴力等に対する指導措置を受けていないこととする。また、懲戒処分は以下のとおりとする。
- ① 違反行為「1回目」は、校長が確認した時点から「2年間」は、本連盟の役職停止及び本連盟主催の全ての大会における指導者等の登録を禁止する。この期間は、異動等により勤務校が変わったり、指導する運動部が変更になっても継続するものとする。
(1年間とは、夏季・冬季または冬季・夏季大会とする)
 - ② 違反行為「2回目」は、本連盟における役職及び本連盟主催の全ての大会における指導者等の「資格なし」とする。

※ 大会の運営方法等について詳細に記した【運営確認事項】を後日メールで配信する。
必ず確認すること。

10. 参加申込

(1) 申し込み方法：

申し込み用ファイルに必要事項を記載し、電子メールに添付した上で、下記のアドレス（競技部長 松本 知幸）まで送信して、参加申し込みを行う。

※不参加の場合も、必ずメール送信すること。

アドレス： 松本 知幸 <makojjp@yahoo.co.jp>

件名： 【春季大会 エントリー ○○中学校】

※ 件名の○○には中学校名を入力すること

(2) 申し込み〆切：

2022年4月8日(金)までに必着

※ 参加申し込みのメールを受信しましたら、受領証を返信いたします。
返信メールをご確認ください。

11. 監督会議

(1) 日時：2022年4月15日(金) 午後3時～ * 専門委員会は、午後1時～

(2) 場所：いかるがホール 2F 研修室

〒636-0123 奈良県生駒郡斑鳩町興留10-6-43 TEL：0745-75-7743

(3) 注意事項：

- ① 抽選会には必ず各チームの代表者、またはチーム内の代理人が出席すること。
- ② 万一、欠席または遅刻の場合は、必ず専門委員長（布施 淳一郎）まで連絡すること。

(4) その他

問い合わせ

専門委員長 布施 淳一郎

080-3101-9646